

平成28年度予算の特色

一般会計

(予算編成方針)

本町の平成27年度における現在の状況は、町税収入について、決算見込みにおいて、固定資産税について償却資産の回復等により対予算比で4%程度の増収が見込まれる一方で、町民税法人税割について、先の消費税および地方消費税および軽自動車税の引き上げ等の影響を受けて、町内企業の業績が悪化したこと等により対予算比で64.0%の減収となることが見込まれる等町税総額としては8.6%程度の減少となる見込みとなったところであります。

また、平成28年度の見通しについては、歳入においては、町税のうち法人町民税について、平成29年度にさらなる消費税の引き上げが予定される等町内企業の業績回復が短期的には見込みにくい状況が想定されること等の要因により前年度当初予算に対して減収が見込まれ、一方、町税の減少等を受けて、地方交付税のうち普通交付税が前年度当初予算に対して増収、併せて、町債において臨時財政対策債についても増収を見込んでおり、国庫支出金および県支出金についても、滋賀竜王工業団地造成に伴うインフラ等整備に係る事業費や、障害者支援関連事業の増加に伴って増加することを見込んでいるものの、一方の歳出面においては、社会保障関連経費が引き続き増加し、財政の硬直化が一層進行していく中で、重要課題である若者定住や施設の老朽化対策に対応していくことが求められる等一層の財源不足が見込まれます。

このような中で、各事業について公益性の確保や負担の公平性等の客観的な点から評価を行った上で、施策の優先度と緊急性を考慮しつつ効率的で合理的な予算に基づいた計画的な執行が求められ、また、歳入においては使用料や手数料についても聖域化することなく、丁寧な住民説明のもとに積極的な財源の確保に努め、真に自立した行財政運営を実施することができる体質の早期の実現を図ることが必要となります。

つきましては、平成28年度について、前期期間が終了し、これの評価と分析結果を踏まえた後期計画期間が始まる年度であることから、当初予算編成に当たっては、前期計画期間中に得られた成果と分析により得られた課題を意識しながら、平成29年度以降の後期計画全体を見通す中で、第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方を基本として、町民の内発的な力を育む住民本意の「“ひと”育ち みんなで煌めく交竜の郷」をめざして、引き続き第五次竜王町総合計画の基本理念である以下の4項目を基本項目として、組織の力を最大限に発揮し施策の具体化に向けて取り組みます。

《竜王町が掲げる4つの柱》

- (1)豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり
- (2)みんなが安心して暮らせるまちづくり
- (3)チャンスを活かすたくましいまちづくり
- (4)町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり

(予算額)

一般会計の総額は、62億4,100万円とし、前年度に比べ1億3,400万円の増、率にして2.2%の増としました。

前年度当初予算に比べて増加した要因としては、防災基盤整備事業について、東近江行政組合南消防出張所移転と併せた町の防災拠点施設の整備に係る事業費3,878万円の減、農林公園施設管理事業について、駐車場拡幅に係る事業費3,131万3千円の減、道路橋梁整備事業について、町道の舗装改良工事の減等により3,135万6千円の減および滋賀竜王工業団地造成に係る事業費が3,800万円の減少としたものの、ふるさと納税推進費が4,098万2千円、障害福祉サービスに係る自立支援事業費が4,400万円、臨時福祉給付金事業が3,526万円、基幹系システム開発管理事業においてクラウドシステムのリース料の増等により3,117万4千円、保育所運営費が2,292万1千円のそれぞれ増加としたことによるものです。

平成28年度の景気見通しについては、平成26年4月1日の消費税率および地方消費税率の引き上げ以降、この引き上げ前までにおける駆け込み需要を受けた反動減等により経済成長の流れが鈍化していること、また未だ欧州での金融不安や、中国経済の減速による世界経済に対する影響等あるいは世界的な原油価格の下落によって、その見通しについて一層厳しさが増す現在の状況があり、一方で一昨年消費税率および地方消費税率の10%引き上げの先送りに加えて、国において平成26年度第1号補正予算として地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策の実施やアベノミクス第二ステージとして新三本の矢「第1の矢：希望を生み出す強い経済」「第2の矢：夢をつむぐ子育て支援」「第3の矢：安心につながる社会保障」を打ち出し、誰もが生きがいをもって、充実した生活を送ることができる「1億総活躍社会」の実現を目指すとする等、再び我が国経済を回復軌道に戻すべく積極的な施策が展開されており、これらに大いに期待を寄せるところではあるものの、引き続き厳しい見通しを持たざるを得ない状況でございます。

また、平成27年度の本町における町税収入については、決算見込みにおいて、固定資産税について償却資産の回復等により対予算比で4%程度の増収が見込まれる一方で、町民税法人税割について、先の消費税率および地方消費税率および軽自動車税の引き上げ等の影響を受けて、町内企業の業績が悪化したこと等により対予算比で64.0%の減収となることが見込まれる等町税総額としては8.6%程度の減少となる見込みとなったところであります。

このような状況の中で、平成28年度当初予算については、本町における各行政施策の根幹とする第五次竜王町総合計画の前期計画が終了し、平成27年度に策定した後期計画がスタートする節目の年であることから、前期計画期間中に得られた成果と課題を踏まえ

て、第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方を基本として、引き続き各施策の具体化に向けて取り組むこと、また本町施策におけるひとつの大きなテーマとしている人口減少問題について、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）に係る事業および本町において策定した地方版総合戦略に基づく事業について、平成27年度3月補正予算において本町総合戦略に基づき、平成27年度国補正予算における地方創生加速化交付金を活用した事業に要する予算について前倒して計上することとしており、これと一体的に取り組むことを念頭に、本町の目指すまちづくりの実現に向けた各政策の柱に沿った事業を一層強く推し進めるべく、これらの実施に要する経費等について所要の財源確保が必要であると判断し、その一部を基金の取り崩しにより補てんしつつ予算を編成いたしました。

については、事業の選択と真に住民が求める施策への集中を図りつつ、第五次竜王町総合計画において目標としている定住人口増加に向けた施策をはじめとする各重要政策に重点的に配分し、一般会計予算は62億4,100万円の前年度に比べ2.2%の増としたものでございます。

[歳入]

- ・ **町税**については、**固定資産税**について 997 万円、0.6%の増加、**町たばこ税**について 1,000 万円、8.3%の増加を見込む一方で、**個人町民税**において 223 万円、0.4%の減少、**法人町民税**は、平成 29 年度の消費税率および地方消費税率 8 %から 10%への引き上げが予定される等町内企業の業績回復が短期的には見込みにくい状況が想定されること等の要因により前年度当初予算に対して 2 億 6,679 万円、42.3%の減、町税としては 2 億 4,406 万円、7.8%の減としました。
- ・ **地方譲与税**については、総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえ、200 万円、4.0%の減としました。
- ・ 地方消費税交付金等の**県税交付金**については、**地方消費税交付金**について前年度予算と同額の 3 億円の増とし、これを除いたその他の交付金については総務省推計値および直近数年間の歳入傾向等を踏まえて、計 100 万円、0.3%の増としました。
- ・ **地方交付税**は、平成 27 年度に引き続いて 2 年連続で**普通交付税**の交付を受ける見込みとなることから、**特別交付税**を含めた合計 1 億 3,200 万円、660.0%の増としました。
- ・ **国庫支出金**については、土木費において滋賀竜王工業団地造成伴うインフラ等整備に係る事業費の増加に伴い 1 億 713 万 6 千円、66.1%の増加、また民生費について、障害者支援関連事業の増加に伴い 2,336 万 7 千円、20.4%の増、平成 27 年度国補正予算にて新たに設けられた低所得者の高齢者向けの給付金を含めた臨時福

祉給付金の給付事業の増加に伴い 35,260 千円、185.6%増加すること等により総額で1億2,591万4千円、19.9%の増としました。

- ・また新たに、**繰入金**において、平成 27 年度において拡充した竜王町未来につなぐふるさと交産寄附制度を受けて、ご寄附いただいた寄附金を積み立てた未来につなぐふるさと交産基金から、寄附の際にて伺ったご意向に沿って、子育て支援や教育・社会福祉あるいは防災・安全等々各行政分野に対して充当するため同基金繰入金 50,000 千円（皆増）を計上いたしました。
- ・**諸収入**については、滋賀竜王工業団地整備に係る事業分を減額し計上したこと等により 1億6,214万7千円、20.5%の減としました。
- ・**町債**は、適正な町債残高の維持に留意しつつ、将来の住民に渡って等しく負担を求めるべき経費への充当分として、また普通交付税の交付を見込むことに伴う臨時財政対策債 3億800万円を加えて 3億5,200万円（161.1%増）を計上しました。
- ・求められる行政需要に対して国県支出金等に加えて、各特定目的基金からの繰入金の充当等これらの特定財源を確保してもなお不足することが見込まれる財源不足額を補てんするため、**財政調整基金繰入金** 2億5,714万5千円（45.1%減）を計上しました。

[歳 出]

- ・**議会費**は、本町の多様な行政課題に対する議員としての知見の向上を図るべく、各委員会の所管事務調査として議員研修事業を引き続き計上する一方で、議員共済会負担金が減少したこと、町議会議員の改選終了に伴いこれに係る経費について減額したこと等により 2.7%減少しました。
- ・**総務費**は、社会保障・税番号制度に伴うシステム整備、篠原駅周辺都市基盤整備事業、番号制度中間サーバ利用負担金および町議会議員選挙費等が減少したものの、ふるさと納税推進費、基幹系システム開発・管理事業、総合庁舎維持修繕事業、参議院議員選挙費、町長選挙費、固定資産評価替調査事業および交通安全施設等維持修繕費等について増加したことにより 2.6%増加しました。
- ・**民生費**は、社会福祉協議会活動事業、障害者総合支援対策事業、子育て世帯臨時特例給付金事業が減少したものの、自立支援給付費、障害者施設整備等事業、臨時福祉給付金事業、国保特別会計（事業勘定）繰出、後期高齢者医療費、保育所運営費が増加したこと等により 7.9%増加しました。
- ・**衛生費**は、環境基本計画策定業務および自動車騒音常時監視面的評価業務が減少したものの、墓地緑化等環境整備モデル事業、中部清掃組合負担金、生活排水対策推進計画策定事業および八日市布引ライフ組合（斎苑）負担金が増加したこと等により 5.5%増加しました。

- ・ **労働費**は、シルバー人材センター補助金の増加により 15.7%増加しました。
- ・ **農林水産業費**は、農林公園施設管理事業および農業基盤整備促進事業が減少するものの、畜産競争力強化対策整備事業、日野川用水施設管理協議会負担金および県営日野川土地改良事業が増加したこと等により 20.3%増加しました。
- ・ **商工費**は、観光振興強化分を追加した町観光協会補助金、また子育て応援軽自動車購入助成事業が増加するものの、ふるさと竜王夏まつり実行委員会補助金および地域産業研修センター管理費が減少したこと等により 3.4%減少しました。
- ・ **土木費**は、定住化促進事業について増額した一方で、滋賀竜王工業団地の整備に係る事業費および道路橋梁整備事業を減額したこと等により 6.7%減少しました。
- ・ **消防費**は、東近江行政組合消防負担金が増加するものの、滋賀県防災行政無線の整備に係る負担金や防災基盤整備事業が減少すること等により 16.7%減少しました。
- ・ **教育費**は、教委事務局費・一般管理、竜王西小学校施設整備事業および竜王小学校施設整備事業が増加したものの、竜王幼稚園施設整備事業、中学生海外派遣研修事業および竜王西幼稚園施設整備事業が減少したこと等により 1.9%減少しました。
- ・ **公債費**は、4.2%減少しました。今後も引き続き計画的な投資的事業の実施の下で適正な町債残高の維持に努めて参ります。
- ・ **諸支出金**は、教育厚生施設等整備基金積立金および公共施設維持管理基金積立金および未来につなぐふるさと交産積立金が増加したこと等により 224.3%増加しました。

(主な事業)

◆第五次竜王町総合計画におけるまちづくりの考え方（基本理念）に基づいて分類

「豊かな自然と歴史を誇れるまちづくり」

- | | |
|---|------------|
| ・ 多面的機能支払交付金事業
農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動等に対する支援 | 5, 151万3千円 |
| ・ 田んぼの学校推進事業
田んぼの学校推進事業委託料（竜小・西小） | 18万円 |
| ・ 県営日野川土地改良事業
農業水利施設の整備 | 560万円 |

「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

- | | |
|---|---------|
| ・ 消費者行政推進対策費
消費生活相談員の設置および地方消費者行政に係る啓発事業経費 | 169万8千円 |
|---|---------|

- ・【新】子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業 398万9千円
 地域ネットワークと訪問事業の連携による児童虐待等の早期発見
 または防止
- ・【新】利用者支援事業 405万8千円
 子育て支援において、多様な教育・保育施設や地域の子育て支援
 事業等を円滑に利用できるよう支援を行う。
- ・【新】放課後児童支援員等処遇改善等事業 307万8千円
 放課後児童クラブ支援員等の処遇改善に係る補助
- ・交通安全施設等維持修繕事業 1,067万円
 防犯灯移設および道路照明灯他灯具交換（LED化）他
- ・障害者施設整備等事業 1,295万3千円
 重度心身障害者の支援施設通所に係る負担金（施設整備分を含む）、
 やまびこ福祉会による施設整備に係る補助
- ・保育所運営費 2億2,144万7千円
 保育所運営に係る負担金
- ・公害対策費・一般管理 443万2千円
 河川および工場排水等水質分析検査、騒音分析検査、臭気分析検査
- ・【新】墓地緑化等環境整備モデル事業 1,195万円
 自治会が運営する墓地等の整備に対する補助
- ・防災基盤整備事業 665万2千円
 水防施設整備工事設計委託料他
- ・国保特別会計（事業勘定）繰出金 7,040万3千円
 国保被保険者医療費の給付等のための特別会計繰出金
- ・後期高齢者医療費 1億4,879万3千円
 後期高齢者医療負担金、後期高齢者医療特別会計繰出金

「チャンスを活かすたくましいまちづくり」

- ・【新】ふるさと納税推進費 4,098万2千円
 ふるさと納税の推進に係る経費
- ・【新】畜産競争力強化対策整備事業 1億2,195万3千円
 畜産の生産基盤の確保および国際競争力強化のため、畜産経営体
 等が行う施設等整備への補助
- ・【新】子育て応援軽自動車購入助成事業 110万円
 定住促進および子育て世帯の支援を目的に軽自動車購入の助成を
 行い、地域経済の活性化を図る。

- ・地域おこし協力隊事業 814万1千円
地域活性化に意欲のある都市住民を受け入れ、観光振興等を創造するとともに、定住・定着を図る。
- ・定住促進住宅新築・リフォーム助成事業 1,000万円
定住促進のための住宅新築およびリフォーム助成事業
- ・農林公園施設管理事業 3,865万7千円
施設指定管理料および駐車場トイレ設置工事
- ・竜王インター周辺地区整備費 8億1,390万円
竜王インターを核にした周辺地区の交通拠点、工業団地や物流拠点へのアクセス道路の整備等
- ・道路橋梁整備事業 7,045万9千円
橋梁長寿命化修繕工事、町道舗装改良工事等
- ・定住化促進事業 563万3千円
地区計画等策定業務委託料および町有地不動産鑑定および登記業務

「町民と行政の協働により築くオリジナルのまちづくり」

- ・【新】第5次総合計画推進事業および総合戦略推進事業 22万8千円
第5次総合計画後期計画および地方創生の取組周知および推進
- ・まちづくり活動支援事業 80万円
まちづくり活動に対する補助
- ・妹背の里管理運営事業 4,205万2千円
施設指定管理料および屋根修繕工事
- ・敬老のつどい開催事業 319万8千円
敬老のつどい開催事業補助金
- ・【新】スーサー・マリー市中学生交流受入事業 101万7千円
児童生徒の国際理解および学習意欲の向上
- ・学校支援地域本部事業 212万6千円
地域による学校支援の取組の推進

「その他」

- ・【新】町長選挙費 780万円
町長選挙経費
- ・【新】参議院議員選挙費 780万円
参議院議員選挙経費
- ・人事考課制度運用事業 140万9千円

職員研修、人事評価システム導入経費等

- ・ 議員研修事業 1 1 1 万 3 千円
各委員会の所管事務調査
- ・ 地籍調査事業費 1, 1 3 2 万 2 千円
地籍調査測量業務の委託等
- ・ 固定資産評価替調査事業 1, 1 8 1 万 5 千円
固定資産評価替調査業務委託料、固定資産評価に係る鑑定手数料等